

水素実ガス流量校正設備『OVAL H₂ Lab』を横浜に開設

— 確かな計測技術による新たな価値創造と水素の社会の実現に貢献 —

株式会社オーバル(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:谷本 淳)は、水素を実際に流して水素計測用流量計の“正確さ”を検証(校正)・調整できる新設備『OVAL H₂ Lab』を横浜事業所内に開設しました。本設備により、カーボンニュートラルの実現に不可欠な水素の効率的な利用に向け、製品の信頼性向上と校正サービスの拡充を図ります。なお、本設備の稼働開始に先立ち、2026年2月24日に安全祈願を含む竣工式を執り行いました。

◆『OVAL H₂ Lab』とは

①何をする設備？

水素の流量を計測する「流量計」が正しく測定できているかを、実際の水素を用いて検証(校正)・調整する施設です。テスト用ガスではなく「本物の水素」を使うため、実使用環境に近い条件で高い信頼性が得られます。

②効果やメリット

●お客さま・業界

- 配管や装置で使う水素の量を正確に把握できる
- 安全性向上・効率化・コスト最適化に寄与
- 共通の基準で測れる環境が整い、市場全体で標準化・品質向上が促進

●当社

- 自社製の水素計測用流量計の精度・品質がさらに向上
- 水素関連製品の研究開発スピードが向上
- 他社製の水素計測用流量計を含めた流量計校正ビジネスが拡大

●社会

- 水素利活用の促進により、脱炭素化への移行を後押し

③設備概要

項目	内容
設置場所	株式会社オーバル横浜事業所(横浜市金沢区福浦 1-9-5)
校正能力	0.18~650m ³ /h(normal)
最大校正可能圧力	0.98 MPa (約 10.7 気圧)
口径範囲(被試験流量計)	10~100mm

『OVAL H₂ Lab』は、当社が長年にわたり磨き続けてきた“確かな計測技術”を、水素分野でも確実に提供するための水素実ガス流量校正設備です。お客さまの流量計を実際の水素を使って高精度に検証することで、安心してご利用いただける価値を創出します。この取り組みは、当社の経営理念である『確かな計測技術で、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献します』を体現するものです。お客さま・パートナーの皆さまとともに、水素利用の安全性向上と産業発展を支え、持続可能で豊かな社会に貢献してまいります。

■計装用語解説(一口メモ)

・実ガス流量校正

一般的に空気で代用されるテスト用ガス(本設備では水素)を流し、流量計が指示する値と基準の値を比較してずれを検証することです。

・m³/h(normal)

流体の体積流量を標準状態(0℃、101.325 kPa)に換算して表した単位です。

温度や圧力が異なる条件下であっても、標準状態に換算することで、流量を同一基準で比較できます。



■OVAL H₂ Lab 外観



■竣工式(安全祈願)



■カタログ

水素計測用流量計ラインアップ:[こちら](#)をクリックしてご覧ください。

本件に関するお問合せは下記までお願いいたします。

株式会社オーバル

(広報)経営企画室 室長 市村 隆博

電話:03-3360-5009(直通) FAX:03-3365-8600 E-mail:kk00@oval.co.jp

(製品)マーケティング部 部長 石川 栄樹

電話:03-3360-5131(直通) FAX:03-3365-8603 E-mail:marketing.info@oval.co.jp